

「テニスの日」に実技講習

「錦織人気」で催し盛況

松本市野満東2の南テニス協会や施設指定管理運営のトイボックスなどによって開かれた。日本テニス協会などが



高校生約60人が参加した「レベルアップクリニック」

23日を「テニスの日」としているのに合わせて企画され、全米オープン男子シングルスで準優勝した錦織圭選手の人気も追い風に、大勢の参加者でにぎわった。昼間は高校生対象の

「レベルアップクリニック」が開かれ、約60人が元選手の谷沢英彦さんから指導を受けた。谷沢さんは参加者

のプレーを見ながら改善点を指摘し、ラリーで対峙し、約60人の練習では「ネットに絶対引つ掛からない安全な高さで打ち合っ

のプレーを見ながら改善点を指摘し、ラリーで対峙し、約60人の練習では「ネットに絶対引つ掛からない安全な高さで打ち合っ

元プロ招きテニス教室

県テニス協会（松本市）は23日、高校生対象のテニス教室を松本市で開いた。日本テニス協会などが競技振興を図



つている毎年9月23日の「テニスの日」に合わせて開催。元プロ選手の谷沢英彦さん（42）＝神奈川県藤沢市＝を講師に招き、高校生約60人が練習に励んだ。写真。谷沢さんは、球を打ち返す際の体の位置や重心などについて、手本の動きを見せながら助言。高校生たちは基本を確かめつつ練習した。豊科高校（安曇野市）2年の高山優希さん（16）は「足の運び方を教えてもらい、ためになった」と話した。

県テニス協会の三村功理事長（68）＝松本市島立＝は錦織圭選手の全米オープンでの活躍を挙げて「テニスに注目が集まっている今の強い追い風を受けながら、若い選手育成に力を入れたい」と話した。

初心者向け教室を特別企画

ラリーの楽しさ体験

小学生らがテニスに親しむ



須坂テニス協会（菅沼義宣会長）は9月28日、臥竜公園庭球場で初心者向けのテニス教室を開いた。写真。ラケットを使った。

室を開き、小学生らが通常より跳ねないボールなどを使ってラリーの楽しさを体験した。教室は2回に分けて行い、須坂ジュニアテニス教室の指導員5人が小学生から大人まで約45人を指導した。国内外で導入されているという「PLAY & STAY」プログラムにより、通常の25%の速さしか出ない跳ねないボールや、子どもでも扱いやすい小さいラケットを使った。

参加者は手や道具を使ってボールに慣れからラケットを握り、上下につく練習などをした。後半は狭いコートでラリーにも挑戦し、ダブルスでの打ち合いや「タイプレーク」（試合をスムーズに進めるための方法）のルールも学んだ。

テニス界では先ごろ、全米オープン男子シングルスで錦織圭選手が準優勝の快挙を成し遂げ話題になった。教室はテニスへの注目が高まったことなどを受け、「ラリーの楽しさを知ってテニスに親しんでほしい」と特別企画した。

初めてテニスを体験した豊丘小2年の滝沢悠叶（はるか）君は「ボールを打つのが楽しかった。またやってみよう」と話した。同協会の菅沼会長は「少しでも多くの人にテニスの楽しさを知ってもらいたい。それにはやっぱりジュニアから」と話していた。